

海底広域研究船「かいめい」



運用主目的	海底資源調査
竣工年	2016年
全長 × 幅 × 深さ	100.5 × 20.5 × 9.0 m
満載喫水	6.3 m
国際総トン数	5,747 トン
巡航速力	12 ノット
乗員(うち研究者等)	65名 (38名)
推進方式	電気推進
推進装置	アジマススラスト×2基

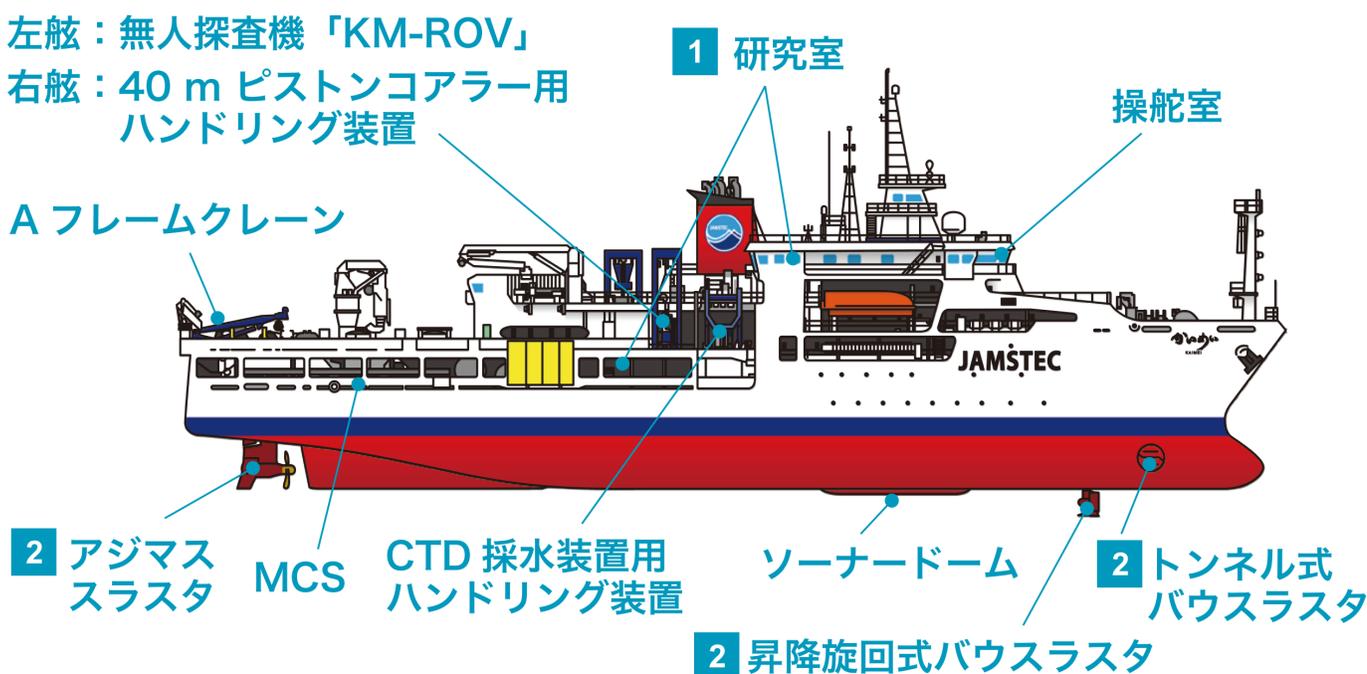
海底地質や海底資源を広域かつ総合的に調査できる最新鋭の船

海底や海底下を広く効果的に調査することで、鉱物や鉱床の生成環境など海底資源分布の広域調査、気候変動に関わる大気・海洋環境の変動の解明及び地震・津波に対する防災・減災の調査研究といった総合的科学研究を行っています。基本的な海底地形調査に加え、2次元・3次元物理探査や最大40mのピストンコアラー、海底設置型掘削装置(BMS)及びパワーグラブによる海底試料の採取を行うことができます。取得したデータの解析や試料の分析が可能な研究室も備わっています。

主要設備

左舷：無人探査機「KM-ROV」
右舷：40 m ピストンコアラー用
ハンドリング装置

A フレームクレーン



1 研究室

操舵室後方の研究室では、音響機器のオペレーションや気象関係の計測を行います。船体中央の研究室は、セミドライ区画とウェット区画に分かれており、それぞれの区画で試料の処理や分析ができる設備が備わっています。



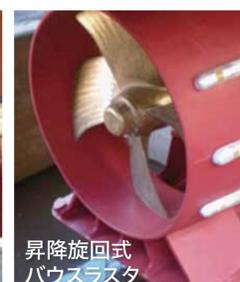
操舵室後方にある研究室

2 3種類のスラスト(推進器)

「自動定点保持装置(DPS)」が搭載されており、3種のスラストを組み合わせることで、海上でも定点に留まることができます。メインの「アジマススラスト」は船尾に2基あり360度回転できますが、船首の制御が難しいため、同じく360度回転できる「昇降式旋回バウスラスト」で動作を補い操作性能を高めています。「トンネル式バウスラスト」は水深が浅い港内での離着岸で使用します。



アジマススラスト



昇降旋回式バウスラスト



トンネル式バウスラスト